

VAP Application Serverの実務での活用について

～将来価値算出モデル（RV Doctor®）での展開例～

システム・ロケーション株式会社
企画開発部 林 雅大

2014年11月21日

✓ Agenda

本日はVisual Minig Studioをより活用するための事例として、弊社での取り組みについて紹介をさせていただきます。

システム・ロケーション社とは

将来価値算出モデル(RV Doctor®)とは

VAP Application Server の活用について

以上3章から、紹介をさせていただきます。

システム・ロケーション社とは

会社概要

■商号 : システム・ロケーション株式会社

■所在地: 東京都目黒区東山2-6-3

SLC目黒東山ビル

■設立 : 昭和43年4月1日

■創業 : 平成4年7月1日

■代表者: 千村岳彦

■資本金: 191,445,000円

■取引銀行:

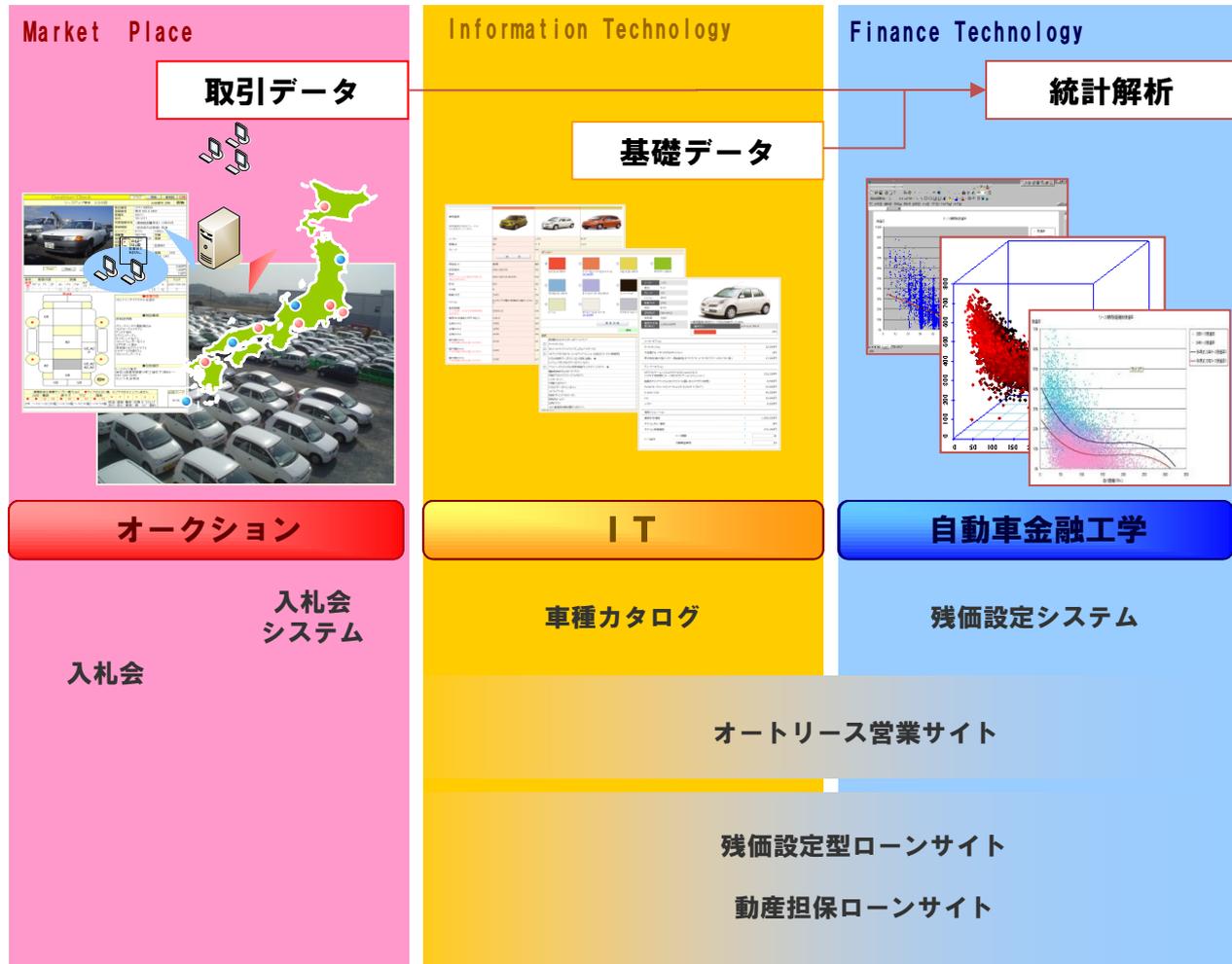
三井住友銀行 新宿西口支店

三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店

りそな銀行 新宿西口支店



弊社の3本の柱



再販業務支援

システム業務支援

✓ 将来価値(残価)とは？



200万円の新車

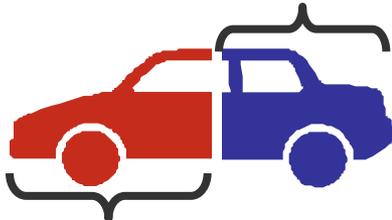
3年後



100万円の中古車

ということは、200万円の車は、

3年後の残存価値



3年間での標準価値減少分

車両の価値は数年で無くなることは少なく、残存価値(残価)が残る。

残存価値 = 将来価値

将来価値算出モデル(RV Doctor®)とは

✓ RV Doctorとは

弊社における、将来価値算出システム
残価算出システム「RV Doctor」

【従来の残価算出】

過去の売却実績や中古車相場等をもとに人が決定

- ⇒ 「検証→値決め」に時間・労力がかかる。
- ⇒ 経験的ノウハウに依るところが多くなる。

【RV Doctorによる残価算出】

条件を入力することで自動的に将来価値を算出

- ⇒ システムによる短時間での算出が可能。
- ⇒ 標準価格として、誰でも算出が可能。

✓ RV Doctorの活用例

オートリースでの活用！

リース商品では、残価を考慮したリース料の算出が必要。

残価設定ローンでの活用！

残価設定ローンでも、終了時の残存価値算出が必要。

車両評価業務での活用！

現在の価値を算出し、様々な評価に活用。

様々な活用が可能です。

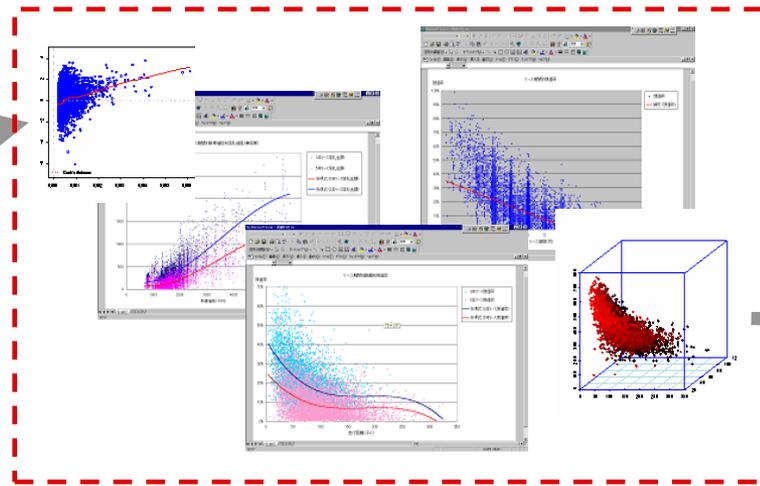
✓ RV Doctorの原理について

RV Doctor®では、過去販売実績データを統計処理することで、将来価値を推定します。

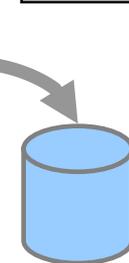
この統計処理の部分で、数理システムさんの Visual Mining Studio (VMS) を活用させて頂いています。

統計処理

過去の売却データ
オークションデータ



車種: ○×
走行距離: 10万km
経過月数: 60ヶ月
評価額: 312千円



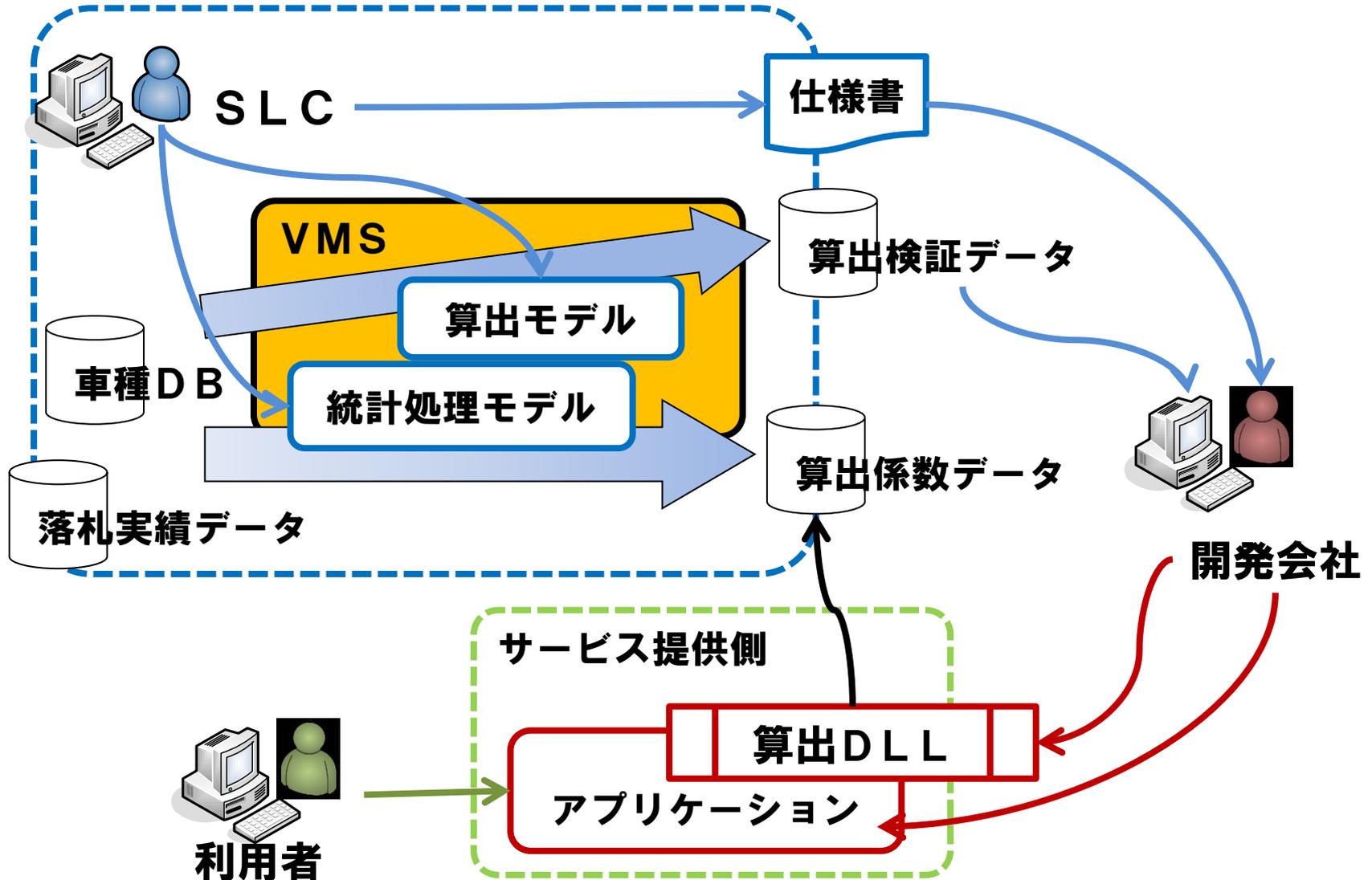
算出

入札会・AA会場

車両算出係数データ

VAP Application Server の活用について

✓ VAP Application Server の導入前



✓ 導入前の課題

・ 開発会社への説明が大変！

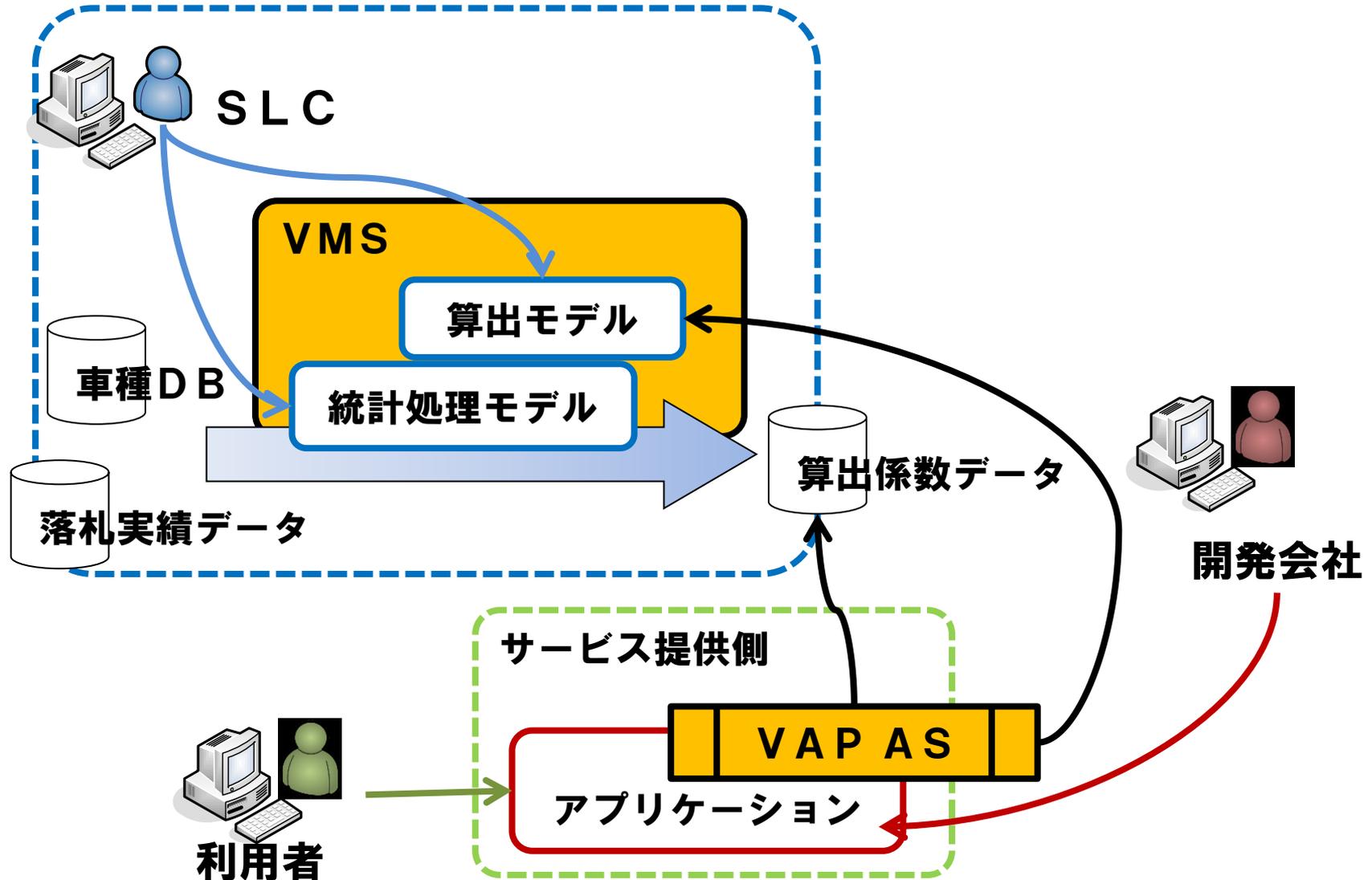
**統計モデルを根本的に変更する場合
都度算出DLLを改修する必要がある。**

- ・ 当社はシステム会社では無い。
- ・ 説明する事がやりたい事では無い
良い統計モデルを作るのが仕事！

**また説明がきちんと伝わらず、サービス
検証時に算出齟齬が出る事も。**

**→ より良い算出モデルを作っても適用が大変。
折角作ったのに！**

✓ VAP Application Server の導入前



✓ 導入の効果1

- ・ やるべき事に注力が出来る様になりました。

作った統計モデルをそのまま利用可能に
結果、

- ・ 開発会社はアプリケーション開発に専念
 - ・ 弊社は算出モデルを作る事に専念
- お互いにやるべき事に専念ができプラスに！

→よい良い統計モデルを、すぐに適用が可能。
VMSにある様々な統計手法も利用が可能！

✓ 導入の効果2

- ・ 大量処理がより早く出来る様になりました。

今までは算出DLLで1件ずつ計算を行って行っていました。そのため大量処理を行う場合、非常に時間が掛かってしまった。

VAP Application Server ではVMSの利点を活かすことが可能。

- 大量処理でも非常に速い計算を実現。
今までの環境では4日以上掛かる処理が2時間半弱で完了するようになりました。

▼ 課題点

導入後では1件だけ算出を行うような場合、今までよりも算出時間が掛かる場合があります。

VMSでは大量処理の為にオーバーヘッドがあり、この点は仕方のない部分ではあります。

このような課題点はありますが、VAP Application Serverの活用で、弊社では価値が出せる部分に注力出来るようになりました。

✓ 最後に

弊社ではVAP Application Serverの導入で、やるべき事に専念が出来る様になりました。

Visual Minig Studioを活用する一例として、みなさまの検討の参考となれば幸いです。

ご静聴、ありがとうございました。